

台風被害を乗り越えて久慈川で進む治水工事

R4久慈川右岸矢田地区整備工事



令和元年の東日本台風において、洪水等が発生し、久慈川に甚大な被害が発生した。そのため、久慈川水系における今後の治水対策として「久慈川緊急治水対策プロジェクト」が実施されており、県、市町村、関係機関が連携し、茨城県内の約70kmにも及ぶ区間全域で対策工事が進められている。

本工事は久慈川右岸65km付近において、地域を水害から守るための築堤及び樋管の新設を行うものである。



工事概要

工事名	R4久慈川右岸矢田地区整備工事
工事場所	茨城県久慈郡大子町矢田地先
工 期	令和5年3月13日～令和7年6月30日
発注者	国土交通省 関東地方整備局
工事内容	河川土工 盛土6,200m ³ 法覆護岸工 コンクリートブロック工 1式 プレキャスト擁壁 1式 樋門・樋管本体工 函渠工 1式 翼壁工 1式 ゲート設備工 1式 等



担当者の声

当工事受注時点では、本川を渡河し現場へ通じる工事用道路を設ける計画でしたが、地権者の都合によりそのルートが使用できなくなりました。そこで、施工箇所に隣接する公営の温泉宿泊施設の敷地の一部を借用し、工事用道路として使用させていただくよう協議を行いました。協議にあたっては、ICT・現場支援室の協力のもと3次元イメージモデルを作成し、施設管理者への説明に非常に効果的に活用することができました。

当温泉宿泊施設の敷地内にはグラウンドゴルフ場が併設されており、大子町の住民の皆様の憩いの場として、連日多くの利用者で賑わっています。そこで、施設利用者への騒音や粉塵への配慮として、高さ3mのフラットパネルを設置し、温泉施設からの眺望に配慮して疑似葉による装飾を施しました。また、工事用道路通行時には最徐行を徹底し、こまめな散水による粉塵抑制に努めました。

工事用道路の撤去に際して、温泉施設側より「せっかく整備された道路を散策路として活用できないか」とのご要望をいただきました。これを受け、施設利用者が安心して通行できるよう散策路として整備したところ、大変喜ばれ、感謝状をいただくことができました。この取り組みは地域貢献の観点からも意義深いものとなりました。

